



札幌フロンティアライオンズクラブ

札幌市中央区南4条西3丁目 北星ビル5階 〒064-0804
ライオンズクラブ合同事務局 Phone(011)221-0331

SAPPORO FRONTIER LIONS CLUB

Hokusei Bldg. 5F, Nishi3, Minami4, Chuo-ku, Sapporo, Japan
Phone(011)221-0331



LIONS CLUB

札幌フロンティアライオンズクラブ

10月第2例会(通算953回例会)

2025年10月21日(火) 18:30～ 札幌東急REIホテル

ガバナースローガン 『 尊重共存 』

会長スローガン 『 笑顔は世界の共通語 届けよう奉仕の力で 』

開会宣言並びに開会ゴング

国歌並びにライオンズヒム 斉唱

ライオンズの誓いの唱和

ご来賓の紹介

ライオンテーマー L原田 昌和

会 長 L中川 卓美

全 員

理事二年/ゴルフ同好会委員 L武田 智靖

ライオンテーマー L原田 昌和

○札幌市少年軟式野球連盟 会 長 大石 雅 様

理 事 長 畑本 清治 様

事務局長 大屋 収 様

○公益財団法人日本少年野球連盟ボーイズリーグ 北海道支部

顧 問 谷口智昭 様

支部長 中村禎伸 様

ご来賓ご挨拶及び感謝状の贈呈

○札幌市少年軟式野球連盟 会 長 大石 雅 様

○公益財団法人日本少年野球連盟ボーイズリーグ 北海道支部 顧 問 谷口智昭 様

***** 審 議 事 項 *****

(1) 札幌市自立支援協議会子ども部会研修会支援とさんりんしゃへのインカム寄贈について

会 計 L沖中 忠國

資料 P4～6

さんりんしゃ	インカム 20台	64,980
札幌市自立支援協議会子ども部会	研修会	89,040
予備費		20,000
		174,020

***** 報 告 事 項 *****

◇幹事報告 幹 事 L濱中 和大

(1) 10月合同幹事会開催のご案内

日 時 10月27日(月) 18:30～

場 所 おたる亭(すすきのビル店)

札幌市中央区南4条西3丁目 すすきのビル4F

電話 533-1000

会 費 6,000円(当日会場にて申し受けます)

締 切 10月17日(金)

二 次 会 Lounge Beluga(ベルーガ)(中央区南5条西4丁目 アルトビル6F)

会 費 5,000円(当日二次会場にて申し受けます)

(2) 第2回ガバナー諮問委員会開催のご案内

日 程 11月6日(木)

場所・時間 ニューオータニイン札幌(中央区北2条西1丁目 222-1111)

受 付 16:30～

諮問委員会 17:00～ 2F「北星の間」 ※懇親会はありません

登 録 料 1名 3,000円 当日受付にて各クラブ一括にて承ります

内 容 1. 第2回キャビネット会議報告

2. 各クラブより活動実績と方針について

対 象 会長・第一副会長・幹事

締 切 10月27日(月)

(3) 第62回 OSEAL フォーラム札幌 北海道特別支援学校パラスポーツプログラム

公益財団法人日本ライオンズ展示ブースについて

フットサル日時 10月25日(土)

場所: 札幌市産業振興センター(白石区東札幌 5条1丁目 1-1)

午前11時～午前12時 模範演技・交流実技

展示ブース日時 10月25日(土)

場所: 札幌コンベンションセンター(白石区東札幌 6条1丁目 1-1)

終日展示

(4) 第21回回薬物乱用防止教育認定講師養成講座のご案内

日 時 11月17日(月) 13:00～17:00 受付 12:30

場 所 北海道道民活動センター『かでる2・7』 820研修室

(中央区北2条西7丁目 Tel.011-204-5100)

締 切 10月31日午前必着

登 録 料 5,000円

【ゴールド認定証について】

通常認定証同様、有効期限は3年間です。

本認定証は薬物乱用防止教室講座を毎年(前年7月～当年6月まで)数回務め、かつ「薬物乱用防止活動」に寄与し、「薬物乱用防止教育講師認定」を取得しているライオンズクラブに属するメンバー及び関係者に限り発行されます。意欲ある認定講師の拡大を図るため、クラブ会長の承認サインのみでゴールド認定証の申請が可能です。申請書式は通常認定証と統一書式(受講申込書)、別途のお支払いは不要です。

テールツイスタータイム	テールツイスター（代理）	L 安藤 康二
○10月第1例会までのドネーション金額（合計）	755,000円	
出席率の発表	出席委員長	L 安藤 康二
10月第2例会	出席率 37.0%	
閉会宣言並びに閉会ゴング	会 長	L 中川 卓美

11月第1例会 11月4日(火) 18:30ゴング
1日役員例会
札幌東急REIホテル

令和7年度 札幌市自立支援協議会子ども部会研修会



札幌フロンティアライオンズクラブ
Sapporo Frontier Lions Club

子どもを支える地域の力

～子どものあそびをまんやかに～

札幌市自立支援協議会「子ども部会」は、障がいや発達支援を必要とする子どもとその家族が、主体的に安心して生活できる地域づくりを目指しています。このたび「札幌フロンティアライオンズクラブ」様のご後援を賜り、研修会を開催する運びとなりました。

子どもは一人で成長するのではなく、保護者・保育者・支援者といった周囲の大人たちに支えられながら、日々成長していきます。とくに、子どもが育っていく過程では「あそび」がとても大切です。あそびの中で子どもたちが抱く「伝えたい」「わかってほしい」という思いに、保育者や支援者が丁寧に寄り添うことで、言葉の発達や自己肯定感の育みに大きくつながります。

今回の講演では、言語聴覚士であり、旭川市立大学幼児教育学科教授の熊田広樹氏を講師にお迎えします。多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

話す・聞く・伝える力を育てるかわり

言語聴覚士の視点から



旭川市立大学幼児教育学科 熊田 広樹 教授

福島県郡山市生まれ。上智大学大学院博士前期課程外国語学専攻言語学専攻言語障害研究コース修了。北海道立札幌肢体不自由児総合療育センター（現 北海道立子ども総合医療・療育センター）、および東札幌・東川町子ども発達支援センターでの勤務を経て現職。言語聴覚士。子どもの発達支援を考えるSTの会運営委員、旭川市社会福祉審議会委員。2020年から2024年まで月刊「発達教育」にて「暮らしの中でことばを育む」を連載執筆。その他、『特別の支援を必要とする子どもの理解』、『標準言語聴覚障害学 言語発達障害学』『保育実践のためのことば学入門』など多数執筆。

開催日

2026年 **2/27** (金) 18:00～19:40

受付開始17:40

会場

札幌エルプラザ3F ホール

専用の駐車場はありません。
近隣のパーキングまたは公共交通機関をご利用ください。

参加費
無料

対象

子どもに関わっている全ての方

療育や発達支援を実施する関係機関、保育や教育機関、医療機関、札幌市行政機関、発達支援機関利用者の家族、地域の子どもに関わる全ての方が対象です。

定員

320名 申込締切 2/13(金)

申し込み

QRコード か 申込フォーム から お申込みください
<https://>



問い合わせ

児童発達支援センターきらめきの星
社会福祉法人緑の会 電話：011-898-3929 （担当：寺田・高橋）

児童発達支援センターさんりんしゃ
社会福祉法人はるにれの星 電話：011-666-7781 （担当：石山・京谷）

I インカム使用の効果について(さんりんしゃ施設として)

目的:

当施設の保育環境のさらなる質的向上と、子どもたちの安全確保およびスタッフ間連携の強化を目的に、インカム(無線通話システム)の導入を希望します。

背景と課題:

現在、療育業務中において、スタッフ同士が情報を共有する場面では口頭でのやり取りが中心となっております。しかし、大人の声が聞こえることで、子どもたちの遊びや活動への集中が途切れてしまうケースが散見されます。また、事業所内での緊急対応が求められる場面(体調不良、ケガ、支援フォロー、保護者対応等)では、即時かつ静かに連絡が取れる手段が期待されます。

導入への期待:

- ① **子どもの集中力を妨げない環境づくり** スタッフ同士のやり取りをインカムで行うことで、大人の声による無用な刺激を減らし、子どもの主体的な遊びに集中できる空間が実現します。
- ② **緊急時の迅速対応** 事業所内のどこにいても即時連絡・指示が可能になり、体調不良や事故等への初動対応が迅速になります。スタッフがその場を離れずに連絡がとれることで、配慮が必要な子どもにも落ち着いた環境を提供しやすくなり、職員の安全への意識もより高まります
- ③ **スタッフの心理的・身体的負担の軽減** 大声での引継ぎを減らすことで、職員同士の連携効率が向上し、業務の質と働きやすさを期待しています。

II 札幌市子ども部会全体研修会 講師費用補助について(札幌市全体への貢献事業として)

目的:

札幌市の子どもに関わっている人たちへの有意義な研修会を行うため。

背景と課題:

札幌市には現在818の児童発達支援事業所・放課後等デイがあります。発達障がいをもつ子どもの割合が多く、幼稚園・保育園、小学校の普通級でも発達に気になる子どもが増えている実情があります。発達障がいは、一言で「こういうものです」と言いにくく、人によってその出方は多様です。そのため、対応も難しく、現場の先生方は対応に困ることもあると思います。また、発達障がいのみではなく、重症心身障害児や医療的ケアが必要な子どもも札幌にはたくさんいますので、関わる人たちの研修は欠かせないものとなっています。

札幌市子ども部会は、福祉・教育・医療など子どもに関わる人たちで、地域の課題解決に向けて取り組んでいる組織です。制度の中で市町村が組織することになっていますが、そこに予算はありません。そのため、これまでは市内の有識者に講師をやっていただいたり、子ども部会メンバーが講師をしたりと、協力してできる範囲でやってきました。

この全体研修会は、幼稚園や保育園の先生方も参加して下さる大きな研修会となっていますので、現場の皆さんに有意義な情報提供ができるよう、多方面からの講師をお招きできたらいいなと思い、ご提案させていただきました。また、全国的にも、このような子ども部会と民間団体とのコラボは聞いたことがないので、札幌市で先駆的に取り組むことができれば、モデルにもなるかなと思っています。ご検討いただけると幸いです。
